

子どもたちが誇れる春日部市に

春日部市議会議員（次世代 かすかべ！）

吉田
みのるの

MY 通信

Minoru Yoshida

第12号



新春特大号

副議長に就任し、7カ月が経ちました
新庁舎の完成やコロナの5類への変更等大きな節目に立ち会い、日々様々な事を学ばせてもらっています

令和6年も引続き
宜しくお願い致します

想いがみのる
願ひもみのる
必ずみのる
吉田みのる

2期目の主な役職

- ◇春日部市議会 副議長
- ◆厚生福祉委員会 委員
- ◇次世代 かすかべ！ 副幹事長
- ◆春日部市「庄和大風文化保存会」顧問
- ◇西宝珠花区 理事
- ◆防災士

吉田
みのる

が選んだ令和5年の

5大ニュース

- 「春日部市議会 副議長 就任」
2期目での就任。日々勉強し、市政発展のために努力あるのみ！
- 「観客ありの大風あげ祭り の開催」
- 「土屋復興大臣 の誕生」
- 「春日部市役所 新庁舎 の完成」
- 「道の駅庄和 防災道の駅 への第一歩」



～番外編～

○栄ひろみくん、埼玉県議会議員選挙 トップ当選

新庁舎が完成しました！！

12月16日(土)、「春日部市新庁舎完成式典」が盛大に開催されました。大野知事(代理)や土屋復興大臣をはじめとする多くの衆議院議員・参議院議員の皆様、清水さいたま市長をはじめとする近隣市町の首長の皆様をはじめ、多くの来賓の皆様や参列者合わせて総勢約150名の皆様にご参加いただきました。式典後のテープカットには、私も副議長として参加させていただきました。「誰もが利用しやすく」「災害に強い」そして「環境にも配慮」(CASBEE 埼玉県：最高位Sランク、BELS：最高ランク5つ星)した庁舎になっています。



◆12月議会補正予算の主な内訳 (一部抜粋)

○地区センター運営事業 約960万円

地区センターの開所準備の費用

○子ども医療費支給事業 約1.2億円

子ども医療費の支給件数の増加(17.4%アップ)、及び通院助成対象年齢拡大(18歳まで無償化)の実施準備

○電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業(追加分) 約18.5億円

令和5年度住民税非課税世帯等に、物価高騰に対する給付金(追加分)として7万円(1世帯)を支給

○給食費負担軽減策 約5,700万円

児童生徒の保護者に対する給食費の支援として、3月分を無償とする

○プレミアム付商品券発行事業 4億円

消費者及び事業者双方への支援策として、プレミアム付商品券(プレミアム率30%)を発行 発行部数は7万部(紙：7割・電子：3割) ※来年度の夏頃の前定

12月議会で取組んだ一般質問について（一部抜粋）

旧宝珠花小学校の

跡地活用事業について

○3月末の工事完了から8月の供用開始まで4カ月あるが、その間にどのような作業を行うのか伺う。

↓施設の設置条例案を上程し、愛称も決定しながら、保守管理等の各種契約事務、什器備品等の搬入、各種展示物の設置等展示室の整備等を予定している。公共施設予約システムの団体登録の申請受付等、施設の利用開始に向けた準備を進める。



正門からの旧宝珠花小学校

○改修工事前に地元の皆さんに向けて暫定利用を行っていたが、どれくらいの利用者がいたのか伺う。

↓令和2年度から改修工事開始前の令和4年度まで旧宝珠花小学校の体育館、校庭、生活科室、図書室を暫定的に地域団体へ無料で開放していた。3か年のトータルの利用者数の実績は、8187名。



○8月からの供用開始後は、施設においてどのような取組を検討しているのか伺う。

↓風作り教室や風あげ体験等の



体験事業、首都圏外郭放水路や道の駅、旧富多小跡地のみどりのPA等と連携したツアー。市内小学校・義務教育学校の地域学習・歴史学習等での団体見学、健康体操等、市内各所で開催している市主催事業の開催場所として利用。神明貝塚の紹介や現地へ誘うための案内等にも活用。農業分野と連携した新鮮野菜の定期的なマルシェの開催等。

○先日、愛称募集を行っていたが、応募件数など、公表できる範囲で伺う。

↓10月2日～11月30日の2か月間愛称募集を行った。広報紙や市公式HP、SNS等により周知した結果、62名から97件の

応募あり。今後選定作業を進め、商標登録の関係等も確認した上で、4月以降に公表していく予定。採用者には、後日、感謝状と記念品を贈呈する予定。

【要望】

地域の皆さんに親しみを持っていただけるような施設になっていくよう、次世代へしっかりと継承していけるような施設になることを期待します。また、千葉県銚子町にある閉校した施設を利用した「道の駅・保田小学校」のような宿泊施設や販売所の併設を要望致します。

お詫び

MY通信第11号にて「令和5年度の決算」とありましたが「令和4年度の決算」の誤りでした。



人事管理と

定年延長制度について

○春日部市の人事管理に対する方針について伺う。

↓住民福祉の向上を図るため、春日部市職員定員管理計画にて、職員数の管理等についての方向性を示しており、各課の業務量や時間外勤務時間等を的確に把握し、適正な職員数の確保や職員配置を行うこととしている。春日部市人材マネジメント基本方針は、人材育成等について示しており、研修等や職場環境の整備をし市民に信頼される職員の育成に取組む。

○春日部市の職員試験の受験申込者数はどのような状況か伺う。
↓事務職一般の応募者の推移は、R1は170人、R2は49人、R3は581人、R4は728人、R5は731人。より多くの受験を頂くため、R2より県やさいたま市の試験日程とは別の日程としている。



○令和6年度から開始する役職定年制にて、役職定年者に求めている役割と、どのような配属先を検討しているのか伺う。

↓R6より、定年年齢65歳まで、2年に1度段階的に引き上げ、R13に定年年齢が65歳となる。役職定年制は60歳到達時に主幹以上の管理職は、翌年は非管理職の主査に異動。60歳以後の給与は、60歳到達時の7割水準。①幅広い相談や支援に対応し現場の相談役としての役割②経験の乏しい若手管理職等の伴走役として、マネジメント補佐としての役割の2点を期待する。配属先は、知識・経験を活

かし、自らの能力を発揮できる部署へ配置。



○職員の方々が職務に対する知識等を身に付けるには、視察等で現地に赴いて現地の空気を肌で感じる事が重要と感じる。特に若手の職員さんが、視察や現地に赴いて、現場を肌で感じ取り、知識や意欲を向上させることができる研修等を増やすべきだと考えるが、春日部市の考えを伺う。

↓職員にはほとんど外に出て、実際の現場を見て、その手法を学ぶ、現場の熱意を感じ取るといったことが、本市の新たなチャレンジに繋がっていくものだと考える。今後は、職員が視察やフィールドワークといった、現場を肌で感じ取れるような研修等の仕組みを検討していく。



詳しくはHPを
市議会動画を
ご覧ください

